

## 別紙 14 「事前通知 出力項目表」

項番 <sup>(※1)</sup>	項目名	区分 <sup>(※2)</sup>	出力コード <sup>(※3)</sup>	内容
2	B/L番号	M		リスク分析結果事前通知の対象となるB/L番号が出力される。
3	マスターB/L番号	C		「項番2」のB/L番号がハウスB/Lの場合は、関連付けが行われているマスターB/L番号が出力される。
4	事前通知コード	M		以下のコードが出力される。 ※ 各コードの内容については、別紙4を参照。 ① HLD ② DNL ③ DNU ④ SPD
5	事前通知件名	C		税関からの通知件名が出力される。
6	管轄官署コード	M		貨物の船卸港を管轄する税関官署が税関官署コードで出力される。
7	管轄官署名	M		「項番6」で出力される管轄官署コードに対する税関官署名が出力される。
8	船舶コード	M	信号符字(コールサイン)	船舶の信号符字(コールサイン)が出力される。
9	積載船名	M		積載船名が出力される。
10	航海番号	C		航海番号が出力される。
11	船会社コード	M		NACCS用船会社コード(※)が出力される。 ※船会社に対してNACCSセンターが払い出すコード
12	出港前報告年月日	C		出港前報告が行われている場合は、出港前報告年月日が西暦(8桁)で出力される。
13	出港前報告時刻	C		出港前報告が行われている場合は、出港前報告時刻が時分(4桁)で出力される。
14	出港年月日	C		出港日時報告(ATD)業務が行われている場合は、日本時間に換算された出港年月日が西暦(8桁)で出力される。
15	出港時刻	C		ATD業務が行われている場合は、日本時間に換算された出港時刻が時分(4桁)で出力される。
16	通知(指示)内容	C		税関からの具体的な通知(指示)内容が出力される。
17	連絡先名称	M		税関の連絡先名称が出力される。
19	連絡先電話番号	M		税関の連絡先電話番号が出力される。
20	連絡先FAX番号	M		税関の連絡先FAX番号が出力される。

項番 <sup>(※1)</sup>	項目名	区分 <sup>(※2)</sup>	出力コード <sup>(※3)</sup>	内容
21	連絡先メールアドレス	M		<p>(1) 税関の連絡先メールアドレスが出力される。</p> <p>(2) 英字は全て英大文字で出力されるため、出力されたメールアドレスに対してメールを送信する場合は、全て英小文字に変換する必要がある。</p> <p>(例)</p> <p>「JAPAN-CUSTOMS@CUSTOMS.GO.JP」が出力された場合は、メール送信時に「japan-customs@customs.go.jp」と変換し送信する。</p>

(※1) 各業務に対応した業務仕様書（出力項目）の項番を表示している。

なお、業務仕様書は、Advance Filing Rules web site (<http://www.naccscenter.com/afr/indexj.html>) に掲載している。

(※2) 「区分」の見方は以下のとおり。

① 「区分」の内容

区分	内容
M	必須項目
C	条件付項目
X	出力されない項目

② 「区分」レベル

(例)

項目名	区分	
項目A	C	
項目B		M

下位レベルの項目は上位レベルの項目の区分に従属する。

上位レベル項目があり、下位レベル項目M（必須項目）の場合、出力必須となる。

(※3) 業務コード集については、Advance Filing Rules web site (<http://www.naccscenter.com/afr/indexj.html>) に掲載している。